

# 健康通信

## 市民病院より

問合先 市民病院 (☎76-4131)

### ◆お知らせ

#### 市民病院職員募集

■嘱託職員(助産師・看護師)

勤務 月々金曜日午前8時30分～午後5時

人員 3人程度

月給 27万円(賞与なし)

■臨時職員(助産師・看護師)

勤務 月々金曜日午前8時30分～午後4時30分

※時間は応相談

対象 助産師・看護師免許取得者

人員 3人程度

時給 1,500円(賞与なし)

勤務開始日 7月1日(月)

申込・問合先 6月24日(月)(必着)

までに履歴書(写真貼付、臨時・嘱託いずれか記入)、資格免許証の写しを郵送または直接病院総務課(〒485-8520住所不要☎76-4131) ※後日面接あり

胃がんは早期発見と早期治療が重要！検診を受けましょう！



▲外科部長 望月 能成

### 胃がんは国民病

がんは国民の約半数の方が生涯のうちにかかるといわれ、三大死亡原因のトップを占めています。

今回お話しする胃がんについては、日本では1年間に12万人近くの人に発生し、患者さんの数はさまざまながんのなかで最も多く第1位を占めています。諸説ありますが古くはこの地方ゆかりの徳川家康も胃がんで亡くなったと言われており、欧米人に比べ日本人がかかりやすいがんで、いわば国民病とも言える病気です。

### 早期発見・早期治療が大事

日本では胃がんで亡くなる方は以前に比較して徐々に減少し、現在では胃がんと診断された約70%

の方が治療により完治するまでになりました。これは1950年代より始まった集団検診によって早期がんが多くみつかるようになったためと考えられています。この早期がんの段階で治療を受けた場合の約95%の方が再発することなく完治します。このように日本では、早期発見と早期治療が胃がん全体の治療率の向上に大きく貢献していることがうかがえます。

### 検診を受けましょう

胃がんの発生は、40歳から徐々に増えて60歳代に発生のピークがきます。また早期がんの患者さんの多くは検診を受けています。症状の有無にかかわらず40歳を過ぎたら毎年、胃の検査を受けましょう。胃の検査としては、「胃力メラ検査」と「胃X線検査」がありますので、どちらかの検査を受けることをお勧めします。

### 胃がんが見つかったら

胃がんの治療は手術が基本です。しかし、治療技術が進歩し、お腹を大きく開けての手術一辺倒ではなくなりつつあります。小さな早期がんの一部に対しては、手術を行わずに胃力メラを用いて切除する内視鏡的粘膜切除術で治すことができます。手術においてもリンパ節転移の危険の少ない早期

がんや一部の進行がんに対しては、腹部に開けた小さい穴からカメラや器具を入れる腹腔鏡手術も選択ができます。またがんが進行して手術が困難な場合に対しては抗癌剤治療が行われます。抗癌剤治療については、この10年間に新しい抗癌剤やがん細胞を標的とした分子標的治療薬の登場により、治療成績がずいぶん改善しました。なかには、抗癌剤治療が著効し、後日、手術した患者さんもあります。希望をもって治療に望みましょう。

### 胃がんの予防

しかし、できれば胃がんにはかかりたくないですね。胃がんの直接の原因として考えられているのは喫煙、過度な飲酒、塩分のとりすぎ、焦げたものの食事です。緑黄色野菜や果物なども適度にとりバランスのよい食事と深酒や喫煙を避け規則正しい日常生活をおくることが胃がんの予防につながります。そして最近話題のピロリ菌感染も胃がんの誘因です。本年2月よりピロリ菌感染者で胃炎がある患者さんに対しては除菌治療が保険適用となりました。ピロリ菌に感染していると言われた方は、一度近くの医療機関にかかることをお勧めします。

